



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち

# とままえ

1

No.545



謹賀新年

## まちひと百景

### 光のオアシス

当町でも年々イルミネーションを飾る家庭が増えはじめています。

五反田さん宅(古丹別)は、今年で7年目になる。年を追うごとに電飾数も増え、今年はなんと3万個を超えたという。

1月中旬まで点灯予定で、光のオアシスとして、地域の皆様の心を癒してくれる。

### 苫前町議会だより合併号

- 森町長新年挨拶 (2頁)
- 苫前町議会だよりNo.65 (3~8頁)
- 苫前・羽幌・初山別でご当地グルメ開発 (9頁)
- 農林水産大臣賞受賞 (有)無限樹 (10頁)
- 全道初 高規格救急車を導入 (11頁)
- ふるさと教育セミナー・PTA連合会研修会で学ぶ (12頁)
- 学社融合事業 お米の発表会 (13頁)
- 社会教育事業のお知らせ (14頁)
- 健康情報 (15頁)
- 住まいる情報 (16~17頁)

### まちの人口

人口/3,998人 (男/1,886人:女/2,112人)  
世帯数/1,718世帯 (12月15日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

# 「新しい自治のかたち」の確立をめざして



苦前町長 森 利 男

## 人が輝き躍動するまち 苦前町

皆様、明けましておめでとござい  
ます。  
お健やかに新春をお迎えの事と存じ、  
心からお慶び申し上げます。

昨年は本町にとりましては、災害も  
なく第一次産業であります、農業、漁  
業についても二年連続で豊作豊漁とな  
り、全体的には良い状況に進んでおり  
ます。

しかしながら、戦後、最長を記録した  
と言われております景気の状態につい  
ては、国民全体では好感感をほとんど  
伴わない「名ばかりの大型景気」と言  
われており、過去の大型景気と比べ成  
長率も低く家計への恩恵も乏しい状況  
であります。

景気拡大のすそ野を広げ、より息の  
長い成長につなげるには、家計や中小

企業、地域経済など回復が遅れている  
部門への目配りが欠かせないものと思  
っております。今後の景気回復を期待  
しているところであります。

現在、国は道州制の実施を進め、国  
の社会構造を中央集権から地域主権へ  
と大きく変えることを進めております。  
十二月十三日の参院本会議では北海道  
を対象とした道州制特区推進法が成立  
しました。それらに対応するためには、  
自治体の経営規模や能力が、これで十  
分なのか問われている時代でもありま  
す。決定権限や財源を国から地方に移  
し、国は地域主権型の自治の仕組みを  
地方独自のまちづくりが可能にするべ  
く、世の中の仕組みを変えることとし  
ています。それと同時に、市町村合併  
や広域連携、コミュニティ（地域社会）

の強化など、それぞれのまちの体制整  
備の方策について活発に議論していく  
ことになっております。

「国から地方へ」「官から民へ」の発  
想については、本町はいち早く取り組  
み、住民の方々に組織されている「苦  
前町自立検討委員会」や平成十七年十  
月からは「まちづくり基本条例」を先  
駆けて、町民・議会・行政が一体で出  
来ることから進めていく体制を取って  
おり、お互いが研究し合い、守り育て  
ていく条例として進めております。

本町はご存じのとおり、現在、大型  
風車を全国で初めて建設したまちと  
して、まちのPR等を推進してありま  
す。また、平成十七年度から風力発電  
推進市町村全国協議会の会長として、  
全国各地で開催される全国風サミット  
やシンポジウム等に出席、苦前町から  
全国発信をし、活発な活動を展開して  
おります。

また、平成十七年度から電源開発  
（株）が、世界で初めて風力発電のための  
大型蓄電システムの運用を始めており、  
視察団も多く、順調に実用化に向けて  
進められております。

更には、第三種苦前漁港の整備につ  
いて、昨年の十二月五日にマリナビジ  
ョン地区に指定され、国直轄で全道の  
拠点漁港として更に整備されることにな  
りました。

とままえ温泉ふわっとも、昨年十一  
月十七日に道の駅として新たにスター  
トしております。

このようなことから、道内の拠点と  
して、まち全体に相乗効果のある展開  
をしていくことで議論しているところ  
であります。

道道力昼九重線、古丹別川、三毛別  
川、番屋の沢川等の整備事業も北海道  
の事業として順調に進めていただいで  
おります。

本町のまちづくりのねらいは、町の  
活性化をはかり、財政運営を安定化さ  
せることであり、特に第一次産業であ  
る農業・漁業の安定化をはかり、商工  
業の活性化を確立させると同時に教  
育・福祉・医療等の対策をしっかりと進  
めていくこととしています。

本町の将来にとって重要な項目は、  
町事業は勿論、国並びに道事業を含め、  
関係機関等との連携を積極的に図って  
いるところであります。

将来の苦前町をしっかりと見据えて悔  
いの残らないよう、町民の皆様が納得  
の出来る、しっかりとしたまちづくり  
を進めていく所存でありますので、よ  
り一層のご支援ご協力をお願い申し上  
げます。

国も地方も財政難の中、最終的にま  
ちを守り町民の幸せと将来の生活安定  
を考え、今何をしなければならぬか、  
町民の目線に立って全国に発信してい  
るところであります。全町民ごぞつて  
一体感をもって取り組めば、素晴らしい  
ことができる。私も全力で取組みたい  
と思っています。私も全力で取組みたい  
と思っています。私も全力で取組みたい  
と思っています。私も全力で取組みたい  
と思っています。

日本で初めて導入した大型風車も、  
今年には蓄電研究をしながら更に新しい  
風を受けて、しっかりと回っています。  
本年が皆様にとって最良の年であり  
ますようにご祈念申し上げます。

# 新年あいさつ

## 輝かしい新春を迎えて

苫前町議会議長 星野恭司

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆様には、平成十九年の輝かしい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、国際的にはイラン・北朝鮮の核開発問題による平和への脅威、国内においては、まさかの夕張市の財政破綻、さらに日本教育の根幹を揺るがす「いじめ」によって将来を担う尊い命が次々と失われていったことは誠に堪えがたいことであります。明るい話題としては駒沢大学付属苫小牧高校の三年連続の甲子園決勝進出と、北海道日本ハムファイターズの優勝は道民に大きな感動と自信を与えてくれたことと思います。

北海道における景気回復は本州に比べ周回遅れとのことであり、いまだに上向きを感じることはできませんが、今年はいよいよとりますように、また、本町にとりまして、ぜひ明るい年でありますように、また一層の、幸多い年でありますように願いたいものであります。

少子高齢化社会が叫ばれ、介護保険制度、子育て支援等々、国は様々な打開策を打ち出しているところでありますが、解決の糸口が見えないのが現状であります。さらに本年は追い打ちをかけるべく問題として、戦後の第一次ベビーブームで生まれ日本経済を支えてきた「団塊世代」が退職を迎える年であり、多くの専門的知識や技能を有する人材が職場から去る年でもあります。国は財政難により市町村合併及び公共投資や地方交付税の削減といった地方への締め付けを一層強めており、地方崩壊が危惧されることとあります。

本町におきましても、財政的には極めて厳しい状況にあります。更なる行政改革の推進と、経済のグローバル化を見据えた機動力のある町づくりを町と議会が一体となつて取り組む決意であります。

どうか今年も、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、今年が皆様にとりまして幸多き年でありますようお願い申し上げます。私の新年のご挨拶といたします。

本年も宜しく申し上げます



青木 幸隆



間宮 英明



西 大志



西田 清一



議長 星野 恭司



柴田 文夫



浅井 昭



林 秀行



猫島 優



年代 芳則



藤田 憲二



小阪 伸一



阿部 俊一

**議会事務局**

事務局長 池田文敏  
 総務係長 長澤まゆみ  
 書記(兼任) 成川敬  
 " 加賀谷之治  
 " 古林佑介

苫前町議会

2007

議会報発行特別委員会

# 議会だより

1

苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

No.66

委員長 阿部 俊一  
副委員長 青木 幸隆  
委員 藤田 憲二  
// 猫島 優  
// 西 大志

## 平成18年 第4回定例会

### 平成18年度 苫前町各会計補正予算

一般会計（第8号・第9号）	
補正額 4,064万2千円を追加し歳入歳出予算の総額を	39億8,449万8千円とする。
補正予算の主なもの	
・北海道後期高齢者医療広域連合関連負担金	9万9千円 追加
・元気な地域づくり事業補助金	341万1千円 減額
・浜の改革推進事業補助金	2,425万円 追加
国民健康保険特別会計（第3号）	
補正額 159万9千円を追加し歳入歳出予算の総額を	5億3,585万3千円とする。
介護保険特別会計（第4号）	
補正額 2,333万円を追加し歳入歳出予算の総額を	3億9,644万3千円とする。
簡易水道事業特別会計（第1号）	
補正額 80万円を追加し歳入歳出予算の総額を	1億7,173万5千円とする。
下水道事業特別会計（第2号）	
補正額 5万5千円を減額し歳入歳出予算の総額を	1億1,269万8千円とする。

平成18年第4回定例会は、12月18日開会され、町長提出の予算等8件、議員提出の意見案3件を原案どおり可決した。また、決算審査特別委員会に付託された平成17年度各会計決算は、認定すべきと決定し、同日閉会した。

#### 主な議案

・北海道後期高齢者医療広域連合の設置について  
・和解及び損害賠償の額を定めることについて

#### 主な質疑内容

**質 猫島議員**  
各補正予算にて燃料費の増額が提案されているが、ウォムビズを徹底すべきと思う、庁舎内の設定温度を伺う。  
**答 岡田総務財政課長**  
20度に設定しています。

**質 林 議員**  
児童福祉扶助費が制度改正により増額となったが被用者、非被用者の算定基準を伺う。  
**答 渡辺町民課長**  
対象を小学3年生までから6年生までに延長、被用者、非被用者の区分は所得階層区分で高額者にも摘要となります。

**質 林 議員**  
高校後援会補助金を270万円程減額しているが、例年同等額程を減額している、実績の伴った予算が必要でないか。  
**答 伊藤管理課長**  
国際交流事業の中止による減額と、通学生徒の定期に関する減額ですが新一年生なども含め予算時では不測が多く、結果大きな減額が生じています。

**質 林 議員**  
不測は理解するが金額が多すぎる検討が必要だ。次に体育館のボイラー取替、パソコンのリース換えなど、健全財政に向け検討が必要だ。  
**答 伊藤管理課長**  
ボイラーの年次計画、パソコン

の買取りなど、節減に向け検討します。  
**質 西 議員**  
強風により町道防雪柵の一部が破損し事故が起きた、他の町道防雪柵の点検はしたのか。  
**答 村田建設課長**  
毎年、業者にて点検の業務指示を出している。事故後の対応をしています。

#### 意見書提出

・病院運営における地方自治体の負担に対し、市町村立病院と同様な財政援助制度化を求める意見書提出について  
・リハビリテーションの改善を求める意見書提出について  
・日豪FTAに関する意見書提出について



# 一般質問

苫前町の「品目別横断的経営対策」の取り組みについて



猫島議員

一 支援の対象は認定農業者と複数の農家による集落営農組織であるが、町内の該当者等の実態はどうか。

二 対象品目は、小麦、大豆、てん菜、でん粉用馬鈴薯の品目とプラス米と聞いておりますが、野菜類、畜産はどういう位置付けか。

三 支援内容は「生産条件不利補正交付金」「収入減少影響緩和交付金」とのことですが、具体的内容を伺う。

答弁 森町長



品目横断的経営安定対策については、これまで、個々の品目毎に講じられてきた対策を見直し、意欲と能力のある担い手に対象を限定し、その経営の安定を図る対策に転換することとした。本町では、認定農業者6・4ha以上、集落営農組織10ha以上に緩和措置が講じられており、また、基準面積に満たない農業者でも、対象品目の収入、所得または経営規模が、経営全体の一定割合以上の経営であれば対象となることである。対象品目の生産者である119戸のうち111戸が加入できる見込み。

大豆、てん菜の振興を図ってきたことから、経営規模要件を満たす農業者の増加に加え、対象品目の交付単価についても、管内他市町村に比べ高く設定されている。また、従来の稲作所得基盤確保対策や担い手経営安定対策については、品目横断的経営安定対策の加入要件を満たす者は本対策に移行することとなりますが、対象とならない生産者であっても、平成19年度から平成21年度までの当面の措置として、稲作構造改革促進交付金により米価下落等の影響を緩和するための支援が行われる。

## 町財政実態の公表と住民説明について



青木議員

私は町財政が危険水域にある実質公債費比率について伺いたい。

実質公債費比率は、総務省が設けた新しい指標だ。この比率が18%を超えると、町が事業のため地方債を借りる場合、道の

許可が必要であり、25%を超えると制限も受けることとなる。

去る9月定例会の、17年度の決算報告で、最近3カ年の公債費比率は、平成15年度25・5%、16年度27・0%、17年度21・3%と公表した。

当町の公債費比率、平成15年度は全道ワースト10に入る16年度は旧空知炭鉱地域6市町に入る状況である。恐ろしい数字だ。

総務省が設置した「新しい地方財政制度研究会」は、自治体の首長に町の財政状態を説明することを求めている。なぜ財政悪化を町民に説明をしないのか。

答弁 森町長

今年度から地方許可制度が廃止され、地方債協議制度へ移行となった。質問にあった実質公債費比率については、地方自治体の財政健全度をはかるため、収入に対する実質的な借金返済の比率を示す財政指標として総務省が今年度より導入したものだ。

実質公債費比率が高くなると、質問のとおりだ。本町の3カ年平均の実質比率は20・3%で今年度借り入れを予定している。起債については9月第一次の許可通知を貰っている。今後は事業費の確定を受けて起債許可申請をする予定だ。

財政実態の公表だが、ホームページで公表及び閲覧に供している。広報誌にも記載し配布している。財政の説明は、住民説明会や自立運営委員会の会議で説明している。今後は財政状況を多くの町民にわかりやすく説明したいと考える。

## 下水道事業について

平成10年事業認可を得て、前は次年度より工事に着手、総額約17億円で16年度完了、共用開始した。

次に古丹別は来年度より着工する。期間は13年と長期間、地区内を3地区に分けて、最終処理場までの幹線路完成は平成32年度である。

苫前完了後2年間工事を休止したが、苫前と古丹別の生活水準の格差をなくすためには、引き続き工事を進めるべきである。

古丹別は、設計積算及び地質調査や測量業務がある。早期着工し、住民に安心した快適生活の提供をするべきだ。工事中完成した地区に汚水の集水プールを造り、車で運搬すると言うが幹線路は約6億円で、半額は国費補助である。長期間だとこの工事が除外される恐れあり。汚

水運搬業務には補助はない。すべて受益者の負担になる。

同じ長期の工事であるなら、住民の理解を得て先に幹線路を造るべきだ。古丹別の事業申請に際し、約30億円の事業費と長期間だが、事業認可は取得できるのか。事業が完了した後、何れは会計検査院の検査対象となる。その時に水洗化普及率が目標に達しない場合、国庫補助金の一部を返還との指摘が心配されるが、如何か。

**答弁 森 町長**

本町の下水道事業は、計画に基づき苫前を平成10年度から着手、下水処理場を含め完了したのは質問のとおりだ。汚水処理については、ランニングコストが安い小規模に最適の「嫌気、好気ろ床法」を採用した。冬期間水温の低い本町での処理がスムーズにいくかを見極める必要があった。

事業費については、急激な交付税の削減により後年の財政負担も考慮し、2年間据え置いた。過年は、交付税も年々増額していたが最近はそのように削減され、今日に至っている。更に今後は算定基準の大幅な見直しが予定されている。古丹別の下水道事

業計画の説明会で、町の起債償還は今後も厳しい状況で年間約1・5億円ペースで考え、事業費の増額は困難と説明し理解を得て、事業を進めると言った。しかし、今後の起債状況の推移をみ、なるべく早期完了に努力したい。

先に国土交通省から担当課長補佐が来道し、下水道事業の展開に関する意見交換会に町も参加し、本町の現状及び計画を説明した。十分に理解していただき認可取得の障害はない。会計検査に関しては、水洗化普及率を高めるべく検査院から全道的に指摘をされた。しかし、補助金を返還した例はないと確認、また、町の現状として苫前は普及率が現時点、計画どおり達成し古丹別においても計画にあった普及率を目標として事業を進めたい。

**まちづくりのための情報共有化の動きについて**



西 議員

情報共有化の方法の確立をしながら、まちづくりに努めなければならない。今後すぐにも、重要な懸案事項もあり、実践が曖昧になることがないよう、その情報共有化に向けたルールやきまりが必要。職員内でも担当課でも共通の認識と実践を行えるように踏み込んだ情報共有化を図る必要があると思う。

情報の共有化（収集・分析・提供）のためにシステムを構築すべきだと考えるが如何か。

**答弁 森 町長**

町民の参加と町民との協働による「町民が主役のまちづくり」にするためには、町民・議会・町が情報を共有し、共通認識の下でまちづくりを推進していかなければならない。

苫前町行政改革実施計画の項目にも「町民向けの政策・予算説明概要書の配付」や「まちづくり座談会の開催」など情報の共有化を進めて来た。「政策決定プロセスなど積極的な情報公開の実施」についても、施行規則等の運用規定の整備及び事業実施に関する意思決定経過の明確化や公表に

ついて検討してきた。

情報共有化を推進していくために、情報の取扱いについて全庁的な基準を設けることや取扱い方法を具体化することが必要で、「まちづくり基本条例の推進に関する規則」を制定し、本年11月1日に施行した。規則では、まちづくり基本条例の柱である情報の共有と参加制度について具体的な方法を定めており、公表する情報や情報公表の方法、町民からの意見等に対する応答責任について、また、参加制度については、町民参加の方法や参加制度の実施により提出された意見の取扱いなどについて規定している。今後、この規則に基づき情報の共有化を尚一層推進するとともに、情報共有化のためのシステムの構築を含めて更に有効な情報共有化施策の調査研究を行い、町民と議会、町が情報を共有し、共に考え、協働したうえで、地域主権時代にふさわしいまちづくりの実現に向けて努力していきたい。

**第7回臨時議会**  
11月13日開催

専決処分報告と承認について  
風力発電事業特別会計補正予算  
落雷損傷による復旧作業  
補正額 1,184万5千円  
(財源・町有建物災害共済金)

一般会計補正予算  
河津災害復旧工事  
補正額 635万円

**医療対策特別委員会**  
12月6日開催

苫前厚生病院運営に関わる施設形態別の検討について  
形態別による試算等の説明

**全員協議会**  
12月6日開催

広域連携による葬祭場新設について  
直接方式、PFI方式、施設リース方式など管理運営形態の説明  
水産鮮度保持施設建設事業について  
漁協苫前支所冷蔵庫の建設  
概算事業費 5億3098万5千円

町負担額 5167万8千円  
浜の改革推進事業について  
ホタテ養殖作業用器購入  
概算事業費 4510万8千円

内訳 北海道 2148万0千円

漁 協 2362万8千円

漁業無線導入  
概算事業費 555万5千円

内訳 北海道 277万0千円

漁 協 278万5千円

# 平成17年度 決算認定

平成17年度各会計の決算は、10月24日、25日に決算審査特別委員会(林秀行委員長)で審議されました。委員会での質疑を要約して、お知らせします。



決算審査風景

## 決算審査に対する質疑

質 阿部委員

自転車ツーリング事業で、他町村との予算配分及び対応職員について説明せよ。

答 伊藤社会教育課長

予算において、参加状況に関わらず羽幌町と折半と決めています。職員も協力しながら実施しています。

をどう考える。

答 岡田総務財政課長

財政運営上の問題点として公債費の歳出に占める割合が大きい。早急に減らすべきと考える。

答 齊藤助役

種々の事業において選別し行っている。今年度予算にても職員給の減額など実施し基金の取りくずしを抑制している。

質 西委員

公債費の平準化等、財政運営をどう考える。

答 齊藤助役

行政改革実施計画にのっとりながら、内部協議を重ね執行しています。

質 阿部委員

小中学校のパソコン設置リース事業で3社の入札を行っているが、一番、二番札が棄権している、その理由と問題点を伺う。

答 伊藤管理課長

長期継続契約との認識がなく、従来契約方法との勘違いにより辞退しました。今後は契約内容については業者に十分理解できるように説明したいと思います。

質 阿部委員

この度の入札は、実質的には競争になっていない。この場合

三番札との間で随意契約をするべきと思うが。

答 岡田総務財政課長

予定額の範囲内であり、随意契約とはなりません。

質 阿部委員

ここ3年間の決算書では、本来の入札が行われ、その上で多額の不用額を出している。予定額が過大でないか。

答 岡田総務財政課長

市場価格等を調査し設定しており、過大とは認識していません。今後の入札には、この度の事を考慮し債務負担行為を導入しております。

質 阿部委員

入札の件、見積の件、財政執行は町民のお金である。再度の検討を頂きたいと思う。答弁はよろしいです。

質 西委員

「風車まつり」の事業評価を示せ。次に上平模範牧場運営に於いての課題は何か

答 山田企画振興課長

第2回目という事で会場を港公園に移し、更にグレードを上げたものです、本町の活性化に資する目的は達成できたと評価しています。

答 河端農林水産課長

課題としては、草地の更新、冬期舎飼における畜舎の関係な

どが運営協議会より要望が出ています。

質 西委員

財政も含めて「風車まつり」の継続性を伺いたい。

答 山田企画振興課長

イベントは内容も充実し、町民意識も向上している。財政的には地域政策振興補助金が3年目で打ち切りとなり課題を残しています。

質 阿部委員

17年度の工事関係の落札率が全体で97%以上となっている。もう少し下げる事は出来ないのか、数字の見解について監査委員の所見を伺う。



町民手作りの「風の花畑」会場

答 齊藤代表監査委員

落札率に関し、理事者側には口頭で予定価格の設定基準等も作成する必要性を進言した。ただ価格を低く設定する事の弊害

もあり、今後検討されるものと思つ。

**答** 斉藤助役

予定価格の設定に関しては、補助事業と町単費事業では異なります。町単費では設計基準、道単価等々の範囲以内、市場価格も入れ仕様書に基づき設計し、予定価格を設定しています。最低基準も設け、工事の質も考慮し落札業者を決めています。引き続き検討します。

**質** 西 委員

医療費抑制にあつたての保健師の予防業務評価と介護体制の課題は何か。

**答** 渡辺町民課長

保健師3名体制で業務は乳幼児から高齢者までの健康等の指導など多岐にわたっている。適切なアドバイスなど専門性がある。町民との信頼関係を築く研修なども必要と考えている。

予防介護普及事業として19年度より始まりますが、保健師の役割が大きくなります。

**質** 西 委員

多忙な業務ゆえに研修等への参加が少ないと思つ。体制を整えるべきと思つ。

**答** 渡辺町民課長

体制的には万全とは言えないが、継続性と計画性を持って研修に参加し質を高めて行きたい。

**質** 西 委員

社会教育など各部署との連携を、より一層深めていく事が必要と考えるが。

**答** 渡辺町民課長

各種事業において、社会教育とは連携して行っている、核家族が進んでおり一層充実したい。

**答** 伊藤社会教育課長

町費、ゼロ予算事業など社会教育では町長部局との間で、数多くの事業を連携しています。風車ウォーキングでは、保健師を要請し、携帯メール子育て支援などの事業もあります。

**質** 小阪委員

平成17年度の下水道事業の普及率は何か。何か積極的な普及を考えているか。工事費等においての混乱など工事業者のチェック機能を説明願つ。



風車ウォーキング事業の様子

**答** 村田建設課長

普及率は計画10%を11%（80件）とクリアしています。普及に関しては各団体等に出向き説明しています。工事費のチェックは設計基準を示し、申請を頂きチェックをして、完了時点で検定をしています。

### 総括質疑

**質** 西田委員

滞納繰越金について、毎年助役より対策本部を設けていると聞くが結果が出ていない、今後どう取り組む。

**答** 斉藤助役

従来の徴収方法は行っている。新たな取り組みとして管内での広域連携の中で専門の徴収員を配置する事も検討されている。

**質** 柴田委員

税金の未納において、同僚委員より成果が上がらないのではとの意見があつたが、私も同じ意見である、納税組合が設置されているが、組合の機能は發揮されているのか。年末には駐在員会議もあるので、その中で実体を説明し協力を得る事も大事と思つ。

**答** 岡田総務財政課長

納税貯蓄組合の奨励金は違法と言われ、組合解散が全国的に

広がっている。本町も奨励金を廃止しており、解散の声もあるが、継続は必要と考えている。徴収に関しては知恵を出し検討を重ねたい。

**質** 阿部委員

この度の決算審査においても財政を危惧する意見は多かつたと思つ。夕張市のように財政再建団体になる事は阻止しなければならぬ。

基金を温存させるためにも聖域を持たず精査するべきだ。今後、合併問題も再び論議される。財政を考えたとき、早めの結論が必要と思つ。

今まで何度となく質問されている事であるが17年度の決算を終えて、現時点での財政及び合併について町長の思うところを聞かせ願いたい。

**答** 森 町長

財政的に厳しい時期は5〜7年程と思つ。今後、大型事業は控えたいが、古丹別の下水道だけは、やらなくてはならない。収支のバランスが取れるよう努めたい。

行革を進めており、人件費も抑制している。退職の補充もせず、一般職の給料までも減額しており、この事は管内では3市町だけである。

国の動向を見ながらの対応であるが、地方交付税を注視し起債を落としながらコントロールして行きたい。

合併については、管内町村会の席上でも話題に上げているが、なかなか進まない。広域連合や合併など、少しでも早く議論を進めたいと思つている。



役 場 庁 舎



# えび・タコギョーザの研究に決定

苫前・羽幌・初山別で「当地グルメ開発



ヒロ中田編集長と3町村の料理長らが出席

十一月二十九日、日本海えびタコ街道協議会（中部三町村観光推進協議会）の「地域ブランドご当地グルメ開発推進協議会」が、はぼろサンセットプラザで開催された。

苫前・羽幌・初山別のホテル、旅館等の商業関係者の料理長らが出席し、「えびタコ街道」にふさわしいご当地グルメについて協議検討された。

同協議会は平成十八年六月に「食」をテーマに連携、「ご当地グルメを開発し、各町村の経済効果と活性化を進めることをねらいとした。

当日は、リクルートじゃらんヒロ中田北海道編集長からご当地グルメの提案がなされた。中田さんはポイント十カ条として「もっとも重要なのは、新しいカテゴリーを作り、ナンパワゴンになること」「民主体の母体でリーダーを作ること」「デビュー日を決める」などを上げた。

そこで提案されたのが「えびタコギョーザ」中田さんは子どもや若い人に好まれる食事のおかずやファーストフードなど汎用性がある。他の食べ物と組み合わせが容易などの理由をあげた。

三町村の料理長らは、「ギョーザ」の提案に対して、驚きと不安の声が相次いだ。が、一月末日までに試作品を持ち寄って話し合いながら試行錯誤を続け、六月一日の初山別村の道の駅オープン日までに商品化し、デビューさせる予定となった。

## 第26回苫前町読書感想文コンクール

12月2日、町公民館で教育委員会主催の読書感想文コンクール表彰式が行われた。小学生から高校生まで応募作品が64点、入選作品が32点。

竹内教育長は「応募された感想文は、どれも心情が豊かに表現された作品ばかりで、児童・生徒の皆さんの読書への親しみが感じられた。これからも公民館図書室と学校図書室の連携・充実を図りながら図書活動の充実を図って行きたい」とあいさつ。

次に、部門ごとに賞状が手渡され、最優秀賞作品受賞者の朗読を行った。審査委員長の松本美樹雄苫前中学校長は「ひとりひとりが本をしっかり読み、自分の心の表現がしっかりできた感想文。自分で考えることは何よりも大切なこと。多くの本を読んで沢山のことを学んでほしい」と講評を行った。



1年生最優秀賞 江尻晴斗くんの朗読



受賞者の記念写真

第26回苫前町読書感想文コンクール 入選者一覧

部門	区分	学校	学年	氏名
小学1年生	最優秀賞	古小	1年	江尻晴斗
	優秀賞	古小	1年	石川初音
	優秀賞	苫小	1年	斉藤未夢
	佳作	苫小	1年	千葉大翔
	佳作	苫小	1年	森一真
	佳作	古小	1年	水谷純奈
小学2年生	最優秀賞	苫小	2年	千葉優花
	優秀賞	古小	2年	杉野隼斗
	優秀賞	苫小	2年	嶋崎海斗
	佳作	古小	2年	永井星奈
	佳作	苫小	2年	小林志乃
	佳作	苫小	2年	嶋崎空都
小学3・4年生	最優秀賞	苫小	3年	旭一向
	優秀賞	苫小	4年	千田大貴
	優秀賞	苫小	3年	小島龍
	佳作	古小	3年	平井悠斗
	佳作	古小	4年	後藤光輝
	佳作	古小	4年	田口萌乃
小学5・6年生	最優秀賞	古小	5年	前川祥希
	優秀賞	苫小	5年	小澤菜摘
	優秀賞	古小	6年	伊藤圭織
	佳作	苫小	5年	坂川さゆみ
	佳作	苫小	6年	瀬川知未
	佳作	苫小	5年	池上森
中学生	最優秀賞	苫中	3年	成川明日香
	優秀賞	苫中	2年	西村萌美
	佳作	苫中	3年	山本沙貴
	佳作	苫中	2年	坂下純貴
	佳作	古中	1年	亀田愛
高校生	最優秀賞	苫商	3年	佐藤麻美子
	優秀賞	苫商	3年	清本沙亜姫
	優秀賞	苫商	3年	大西歩未

# 農林水産大臣賞受賞（有）無限樹

十二月六日、平成十八年度土地改良事業地区営農推進優良事例表彰式が、東京都千代田区平河町の砂防会館で行われ、北海道から唯一、有限会社無限樹（大川博文社長）が最高賞である農林水産大臣賞を受賞した。

これは、国営かんがい排水事業の実施による、安定的な水を利用して水稻の安定生産や小麦、スイートコン、メロン、ミニトマトなどの多品目栽培による大規模な経営を実現したことが高く評価されたもの。

（有）無限樹は、五戸の農家で構成している農業生産法人



大川博文（有）無限樹代表取締役



で、地域農業の維持に危機感を募らせていた農業者が集まり、平成八年に発足した。  
また、離農地の受け入れや離農者の雇用、個別農業支援のためのコントラクター事業にも取り組むなど、地域社会の守り手としても積極的に活躍している。  
無限樹のスローガンは、3Y「夢・余裕・安らぎ」・3A「安価・安全・安定」・3J「自主・自立・自由」を掲げ、日本農業の先駆的な法人として、今後も注目される。

## 苦中生徒会が 佐呂間町へ 竜巻被害義援金を送金

十一月三十日、苦前中学校（松本美樹雄校長）の生徒会役員（川村彰生徒会長）三名が役場を訪れ、佐呂間町竜巻被害義援金を届けた。

これは、同生徒会が中心となり、苦中としてできることは何かを模索し、学校や街頭で義援金活動を行ったもの。

一昨年は同様に「新潟中部地震」の募金活動を行っている。

当日は、川村生徒会長から渡辺町民課長に義援金が手渡された。この義援金は日本赤十字社苦前町分区から十一月一日に日本赤十字社北海道支部へ送金された。



義援金を手渡す川村彰会長

## 「文芸」

苦前町文芸を語る会

（短歌）

浄瑠璃がオペラグラスに浮き上がる「かしら」のたくみ常につなかる  
栄 浜 横内 弘子  
ゆりかごの歌を好みてせがむ孫雪の窓辺の優しき時間  
長 島 水谷 露子  
冬山に夫を送りて子育てと家畜の世話懐かしき日々  
古丹別 木幡とく子  
天からの便りと想ふ元旦の朝に受け取るいとひらの雪

（俳句）

前の山 疎林浮かして 初苗  
古丹別 桑 風  
そうそうと 真っ直ぐに生きて 歳かさね  
古丹別 林 千代美  
（文責・大矢根）

## 川柳

一言を 控えて丸く 波立たず  
古丹別 運上 吉雄  
吹き荒れる 厳冬に慣らされ 春を待つ  
古丹別 今新きみ子  
正月は 寄せぬ賑やか 子等を待つ  
古丹別 斎数 範章  
著持てる 幸せ感じ 座を囲む  
古丹別 関 武  
大波も 小波も越えて 金婚譜  
（文責・鎌田）  
苦前 鎌田 信夫

# 全道初の最新式 高規格救急車を導入

十二月四日、北留萌消防組合古丹別支署に、全道で初となる最新式機材を装備した両開きの高規格救急車を導入した。

当日は、森町長や伊藤優樹古丹別支署長はじめ関係者約二十名が出席し、入魂式が行われた。

この高規格救急車は、二千七百ccの七人乗り（患者含む）、発行ダイオード式赤色灯、自動体外式除細動器（AED）、気道確保機器、点滴機器、医療用酸素ボンベ、救出用器具など最新機器が装備されている。

事業費は、車代が一千七百八十五万円、搭載機材代が一千二



約20名が出席した入魂式



北海道初上陸の高規格救急車

百八十六万三千元、総事業費三千七百一十二万三千元となる。搭載された機器類を医師の指示を受けながら使用するものが、救急救命士で古丹別支署には現在四名が配置されている。

森町長は「町民が望んでいた高規格救急車が導入された。今後安心・安全なまちづくりを目指し、もしもの場合に対応してほしい」とあいさつした。

二月一日の運用開始までに、救急救命士を含め職員は、ローテーションを組みながら、最新機器の使用訓練を重ね、もしもの場合に備えることになる。

## おからクッキーを開発販売

### 苫前商業高校体験発表会

11月25日、苫前商業高等学校（眞屋岩男校長）体験発表会が町公民館で行われた。

目的は 生徒自らが物事を主体的に考え、表現する力を育成すること 地域の方々に教育活動に対する理解を深めていただくこと 中学生や保護者の方々の進路選択のひとつとしてもらうこと。

当日は、町内施設見学報告（1年生）や職場実習報告（2年生）札幌企業学校訪問（3年生）、町内ボランティア報告（2年生）課題研究発表（3年生）見学旅行報告（2年生）が行われた。

また、「地元の新しい味」として、3年生の商品開発班では、おからを使ったクッキーを開発し、販売に至った。

商品開発班では、試行錯誤を繰り返してレシピを完成させ、羽幌町にあるお菓子製造業者に依頼。完成したのは、「おからクッキーコーン味」と「おからクッキーゴマ味」で、サクサク感と甘さがほどよくおいしい。

当日は、森町長や竹内教育長、間宮PTA会長などもステージ上で試食し、「健康的でおいしい」と評判も上々。

このクッキーは、道の駅風Wとままえ、羽幌町毎月で限定販売されている。

開発班の竹花沙織さんは「アイデアが商品化されて、実際に販売され、とてもうれしい」と達成感の笑顔を見せていた。



発表：自分たちで苫前町の名産品を作りたい



ふわっと売店の販売も決定



おいしいと評判のおからクッキー

## 森会長（町長）が 討論会に出席

十一月二十一、二十二日に東京の科学技術館で開催された「第二八回風力エネルギー利用シンポジウム」（日本風力エネルギー協会主催）において、森町長が風力発電推進市町村全国協議会の会長として討論会に出席した。

討論会では、大学の教授などを交えて日本の風土に合った風車機の開発や落雷対策、故障の多発、バードストライクなど国内の風力発電の現状や課題などについて討論し、地球環境にやさしい風力発電の推進のため活発な議論が取り交わされた。

また、来年度に高知県梛原町（ゆすはらちょう）で開催される全国風サミットの紹介をするなど、苫前町や協議会のPRを行った。



シンポジウムの様子

# ふるさと教育セミナー PTA連合会研修会 で学ぶ！

十二月五日、町公民館にて町PTA連合会（池田文教会長）と町教育委員会が主催した「苫前町ふるさと教育セミナー・苫前町PTA連合会研修会」が開催された。

目的は、家庭・学校・地域が一体となって社会環境を改善し、地域社会全体で子どもを育むための方策等に研修を深めること。池田会長は「毎日のように子どもたちの自殺のニュースが流

れている。また、学校規模に関係なく同じような事件が全国で起きている。当町にとっても人ごとではない。より一層、家庭や地域の教育力を高めることが必要である」とあいさつ。

次に、苫前小学校PTA小澤哲也教養部長が、道PTA研究大会函館大会の報告を行った。小澤部長は、「朝食を食べずに登校する児童・生徒が増加しており、生活リズムの乱れや体調不良の子もたちが多く見られている」と「朝食」の大切さについての事例などが話されていたと報告。

なることがわかってきたようだと話し、自然体験の重要性を訴えた。

山本さんは、最後に「地球の美しさと神秘を感じとれる人は、科学者であらうとなかろうと、人生に飽きて疲れたり、孤独にさいなまれることはないでしょう。」と、レイチエルカーソンの著書「センス・オブ・ワンダー」（神秘さや不思議さに目をみはる感性）を映像とともに紹介した。

## 管内市町村職員セミナー

十一月二六日、町公民館で留萌管内市町村職員を対象としたセミナーが、午後一時から午後五時まで開催され、約三十五名が受講した。当町からは議員一名、職員十一名が受講。

講師は、関西学院大学小西砂千夫教授で、第一部として「はじめの行政評価」と題して講義。

行政評価とは事業の善し悪しを評価するものではない、事業の進捗状況を現すもので、中長期の財政計画（三～五年）と実施計画（二～五年）の整合性が必要であり、充分な政策議論をすることが重要と話した。

また、第二部として「竹中前大臣が仕掛けた3つの爆弾+1」と題して、量的な改革と質的な改革、新分権一括法のねらいなどについて、国の動きなどを交えた講義を行った。



セミナーの様子



山本幹彦講師の講演

次に、特定非営利活動法人当別エコロジカルコミュニティの山本幹彦代表理事が「地域全体が子ども達を大切に育てる地域とは」の演題で講演。

五歳～八歳までに自然体験を多く体験した子どもは、大脳生理学的にも正義感や道徳感を発達させ、自然体験が少なくない情緒不安定

## 児童の健全育成に役立ててほしい

2月19日、地域貢献事業の一環として、山本建設工業（株）の山本啓一社長と笠嶋土木係長と留萌信用金庫古丹別支店信緑会の館敏一会長と河村正男事務局長（支店長）が、それぞれ公民館図書室を訪れ、優良図書購入に役立ててほしいと、伊藤通康公民館長に図書購入費が寄贈された。山本社長は「テレビ等で、毎日のようにいじめや自殺など、悲しい事件事故などが報道されており、会社として子どもたちにできることはなかい」と優良図書の寄贈することを決めた。また、館会長は「会員47団体の総意。チャリティー忘年会を開催し、その収益金を優良図書購入費に寄贈することを決めた」とのこと。寄贈された図書購入費は、安藤図書司書が選書し、本年度中に購入することになる。



山本社長と笠嶋土木係長



信緑会・館会長と河村事務局長（支店長）

## お米の発表会



班ごとに発表する苦小5年生の様子

学社融合事業のひとつである「農業体験事業」のまとめとなる学習発表会が苦前小学校（中井清校長）5年生、古丹別小学校（中山康彦校長）5年生で行われた。

12月7日、苦小では講師の花井秀昭さん（字岩見）と農協職員の山田唯勝さんを招いて4月の種籾蒔き授業、5月の田植え授業、7月の成育調査授業、9月の稲刈り授業、12月のまとめ発表（試食）と1年間を通じて「お米」について学習してきたことについて発表を行った。

最初に花井さんの宿題に対して発表をしたのが「宿題班」で、北海道で作られている、お米の種類について調べたことを発表した。次に「米作りまとめ班」がスライドを使って1年間の体験の様子を発表。次に「お米料理コンテスト班」が収穫したお米（おぼろつき）で作ったおにぎりなどを講師の花井さんらが試食した。

花井さんからは、お米が出来上がるまでの農家の仕事の様子やお米の検査について講話があり、子どもたちは、お米について更に理解を深めることができた。

また、花井さんから日本で最初に作られたと言う「きたのむらさき」（黒米品種）というお米が全員に配られ、子どもたちは黒いお米に目を丸くしていた。

## 松本晁章演奏会



古中で尺八の魅力を伝える松本さん

11月28日、町公民館で尺八演奏家の松本晁章さんの演奏会が行われた。

松本さんは、昭和2年3月27日富山県小杉町山本新に生まれ、昭和16年朝鮮鉄道慶州機関区に奉職、昭和21年9月引揚後、苦前町の親戚を頼り、昭和22年2月まで移住した。

その後、札幌に行き、松本さんの兄から送ってもらった尺八をもとに苦労を重ね、民謡尺八道小路流三代目家元となった。

当日は、午後7時より演奏会が始まり、最初に大正琴苦前町同好会との共演、次に、民謡との共演を行った。民謡との共演では、当町が誇る民謡講師の久野絹枝さんも出演し、津軽アイヤ節、北海浜節、津軽上され節を披露。日本の伝統楽器のひとつである尺八と民謡が来場者約250人の心に響いていた。

また、当日の午前中は古丹別中学校（真田正校長）でアウトリーチ活動を行い、実際に生徒らに尺八を吹かせ、尺八の魅力と歴史を伝えた。



観客を魅了した共演

## 防災対応訓練

十一月十九日、町社会福祉協議会主催、苦前町日本赤十字奉仕団共催により、防災対応訓練が町福祉センターで開催された。

これは、地震や台風などの災害時に円滑で効率的な活動を、地域の方々が力を合わせて、ボランティア活動するための心得や対応について理解を深めてもらうもの。

まず、災害救援ネットワーク北海道の山口幸雄代表を講師として、炊き出し訓練、避難場所設置訓練及び模擬体験炊き出し配膳などの実技のほか、講話が行われた。

山口さんは「ボランティアは指示待ちではため、各自が手伝う仕事を見つけ、コミュニケーションを図り取り組むことが重要」と話した。

また、午後からは、北留萌消防組合消防署古丹別支署の草薙・橋場両救急救命士から災害時の急病人やケガ人の心肺蘇生法、三角巾等による止血方法などの応急処置について学んだ。

避難場所設置訓練を行う参加者



災害時の応急処置法も学ぶ



# 社会教育事業のお知らせ



## 社会教育課からのお知らせ

### とままえ寄席

今年も落語の柳家さん喬師匠が苫前町にやってきます。今回は太神楽の曲芸師、鏡味仙三郎師匠も加わり、お二人の名人芸を身近に楽しむまたとない機会です。

みなさまお誘い合わせのうえ、ご来場ください。

と き 2月2日(金) 19:00 ~ 21:00

ところ 苫前町公民館

入場料 大人 1,000円

小中学生 500円

(お茶菓子が付きます)



### ナイタースキー教室

初心者、上級者問わず、全日本スキー連盟公認指導員が親切、丁寧に指導してくれます。今年も苫前・古丹別の両地区で開催いたしますので、ふるってご参加下さい。

開催日：苫前地区 ~ 1月22日(月)、26日(金)、31日(水)  
(計6回) 古丹別地区 ~ 1月24日(水)、29日(月)、2/2日(金)

どちらの地区でも教室は受けられます

開催場所：苫前三角点スキー場及び古丹別緑ヶ丘スキー場

開催時間：19:00 ~ 20:45

対象者：中学生以上の町民



### 親子ドッジボール大会

マチのスポーツ団体が協力して、親子や友人同士で「楽しくさわやかな汗をかこう」をテーマにドッジボール大会を楽しみます。

どなたでも参加できますのでふるって申し込みください。

開催日：平成19年1月28日(日)

開催場所：苫前町スポーツセンター

開催時間：9:00 ~ 15:00

対象者：親子の部：親1名以上、  
子1名以上

(子どものみの参加も可能です。)

一般の部：一般町民

### 留萌管内ふれあいスポーツ大会

( ~旧スポーツフェスタ )

スキーの得意な方、参加してみたい方、ご連絡お待ちしております。

開催日：平成19年2月11日(日)

開催場所：小平町望洋台スキー場

競技種目：ジャイアントスラローム  
(大回転)

対象者：16歳以上の一般町民

(ただし、全日制の高校生は  
除く。)



~あなたの学びたいを応援します~

ご相談・お問い合わせは

苫前町公民館

でんわ 65 - 4076

e-mail syakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp



# お正月の食事 ワンポイント



## 年 末年始の 食生活について

Q これから年末年始、生活リズムが変わると食生活も変わりますが、どんなことに気をつけたらよいでしょうか？

A 年末年始での忘年会や新年会があり、暴飲暴食になりがちです。体重が増えたり、塩分の取りすぎが心配されます。特に生活習慣病の人、例えば糖尿病や心臓病、高血圧の人など、この時期は要注意です。

Q どんなタイプの人ですか？

A 例えば、肥満の人、また、忘年会や新年会の予定がいつぱい詰まっている人、それから宴会や飲み会が好きの人などがいますね。そして、健康診断で「要注意」といわれている人。気にはしているけど、声が掛かるとつい出掛けて行くという人たちは、本当に要注意です。

Q お正月といえは「おせち料理」ですが・・・？

A おせち料理の良い点は、品数が多く、特に昆布や豆、芋など、普段あまり口にしない食文化の伝統に触れることです。

Q 逆に悪い点は・・・？

A おせち料理は、日持ちさせ

るために塩分が多くなりがちです。量的にもたくさん食べ、好きな物しか食べないこともあり、野菜が不足になりがちです。良く考え、選んで食べないといけませんね！

## 糖 尿病と お正月の食生活

Q 注意しなければいけない人に、糖尿病の人がありましたね？

A そうです。最近、糖尿病の人が大変増えていきます。糖尿病の人は、医師から1日の必要エネルギー量を決められています。それをしっかり守ることが必要です。

Q この時期でもきちんと守ることがありますか？

A 栄養のバランスに注意して1日3食、規則正しく食事をとることが大切です。

Q お休みだと、ついゆっくり寝ていたり、朝昼兼用で食事、ということがありますね。

A 年末年始の朝食は、ルーズになりがちですが、1食抜くと栄養バランスも崩れやすく、一度の食事で食べ過ぎてしまうことがあります。また、食べない時間が長くなると、血糖値が下がって、低血糖を起こす危険が

あります。

Q それ以外にもお正月に欠かさないのが「お餅とアルコール」ですが、どのくらいの目安と考えたらよいですか？

A たとえば、お餅2個、1個が50gぐらいのものですと、ご飯でお茶碗1杯分に相当します。それからアルコールですが、日本酒の場合、お銚子1本がやはりお茶碗1杯分のエネルギーと同じです。

Q ご飯に換算して、どのくらい食べたか、自分で考える、ということですか？

A そういうことです。これは、年末年始だけの話ではなく、普段からそうした考えで食事をとることが大切です。

Q お酒を飲んだ分、今日はご飯1杯減らそう、というようにですか？



A 健康な人ならそこまで考えなくてもよいかもしれませんが、糖尿病があつて食事をコントロールしている人は、1回ぐらいいは良いかもしれませんが、避けたほうがよいでしょう。極端なことを言えば、主食2回分をお酒に回してしまうようなことはしない方がよいと思います。

## 昔前は糖尿病が多い！

不規則で栄養バランスのよくない食生活、慢性的な運動不足等、このような生活習慣病に心当たりのある方は、糖尿病予備軍がもれません。

糖尿病は初期の自覚症状が現れにくく、症状が進行するに連れて、糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害など全身にさまざまな合併症を引き起こす病気です。

現在、糖尿病予備軍は、成人6人に1人といわれています。若前町での平成18年5月診療分における糖尿病による医療機関の受診率（国保加入者）は、5・60割と管内平均4・20割や全道平均4・49割を大きく上回っています。症状が現れたときには、すでに進行している病気です。予防するには、運動不足の解消、食生活の改善など生活習慣を改め、健診などによる早期発見、早期治療が大切です。

# スマイル 住まいる情報 Information

## 広報紙「ほっかいどう」について

今年度から、これまでの冊子スタイルからタブロイド判に変更し、発行回数も年6回（奇数月の発行）となりました。

1月号は、主に11日（木）～12日（金）にかけて新聞折込のほか、一部地域では日本郵政公社のタウンプラスを活用して皆さんへお届けします。

また、支庁、市役所（町（村）役場）のほか、お近くの郵便局、銀行（札幌、北洋、北海道）、セイコーマート、ドコモショップなどにも備えております（部数に限りがあります）。

なお、これらの方法によって、手に取ることが出来ない方には、個別に郵送もいたしますのでお問い合わせください。

### 【問い合わせ先】

北海道知事政策部  
知事室広報広聴課広報グループ  
011-204-5110

## お詫び

12月号のP7「勤労感謝で苫前保育園児が職場慰問」の写真説明で「よこのしょうへい様」のお名前に誤りがありましたので、訂正しお詫び致します。

## 確定申告のお知らせ

町総務財政課税務係では、次のとおり所得税確定申告書の記載指導を行いますので、申告が必要な方は、ご利用願います。

日程及び場所

2月7日（水）9時～18時 苫前町役場大会議室

2月8日（木）9時～18時 公民館農村研修室

持参するもの

賃金・給料等及び年金等の源泉徴収票 印鑑、 保険会社や郵便局などが発行した生命・損害保険料等の払込証明書 医療費領収書、 国民年金保険料の領収書又は控除証明書 健康保険税、介護保険料等の領収書など支払額がわかるもの、 金融機関の口座番号

また、営業及び譲渡における所得税確定申告書の記載指導は、次のとおり。

日程及び場所

2月21日（木）10時～16時 苫前町役場大会議室

## 平成18年度自衛官募集

2等陸・海・空士

応募資格：18歳以上27歳未満の男子

締め切り：平成19年2月2日（金）

試験期日：平成18年2月9日（金）10日（土）いずれか1日

試験種目：筆記試験（国語、数学、社会、作文）口述試験、適正検査、身体検査

待遇：給与：初任給157,500円 9ヶ月後172,100円

賞与：年2回、4.45ヶ月

将来に役立つ資格・免許の取得

問い合わせ先

各市町村自衛官募集担当者

自衛隊旭川地方協力本部留萌地域事務所 0164-42-4650

地域事務所の各担当地域の広報官がご説明にあがることがあります。その節は宜しく願います。

## 「手をつないだらここが一番！見えてきた」



トライアスロンと沿道の花

### ■今後の活動は

マチが誇る資源を「地域の宝」として全国に留萌管内の魅力を発信していくため、地域の皆様と一緒に企画・活動をしていきますので、ご協力をお願い致します。

※本ルートのマチの情報を留萌管内の各市町村広報誌に掲載していきます。

留萌管内の9市町村が持つ魅力をも「道」でつなぎながら、マチとマチ、地域と行政が連携し、食や観光・美しい景観を通じて、広域のマチづくりを目指しています。

### ■活動主体は

農・漁・商・工業など36団体が中心となり、地域の住民の皆さんが主体で活動しています。

### ■これまでの活動紹介

「九宝御膳」  
「トライアスロン花リレー」  
「フォトコンテスト」  
「エゾカンゾウ勉強会」など  
※詳しくは次号でご紹介します。

〒077-0005 留萌市船場町2丁目JR留萌駅2階 萌える天北オロロンルート運営代表者会議事務局 電話：0164-42-3871 FAX：0164-42-3856  
E-mail：tenpoku-ororon@moeru.fm

萌える天北オロロンルート ⑦

## 裁判員制度を 御存知ですか！

裁判員制度とは、国民の皆さんが裁判員として刑事裁判に参加し、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と一緒に決める制度です。

地方裁判所で行われる第一審の刑事裁判のうち、国民の関心が高い重大な罪の裁判に本制度が適用されます。

国民の皆さんが裁判に参加することによって、法律の専門家ではない人たちの感覚が、裁判の内容に反映されることになり、司法に対する理解と信頼が深まること期待されています。

選挙人名簿をもとに、くじなどで選ばれ、事件関係者や一定の科がある人などを除けば、20歳以上の国民は誰でもなることができます。

国民の司法参加を実現するこの制度は、平成21年5月までにスタートします。

旭川地方検察庁では、この制度を広く市民の皆さんに知っていただくため、説明員（職員）を派遣し、説明会を開催しております。

職場の研修、学校の授業、各種団体の講習会、自治会の会合や公民館の集まりなどにおいて、説明の機会を設けさせていただきますので、職員を直ちに派遣いたしますので、希望される場合は下記まで御連絡願います。

〒070-8636

旭川市花咲町4丁目

旭川地方検察庁広報担当

電話 0166 516233



# 北留萌消防組合からお知らせ

北留萌消防組合では、組合が保有する情報の公開と、個人情報情報の適正な管理・運営を図るため、次のとおり条例を制定いたしましたので、お知らせ致します。

制定条例名	北留萌消防組合情報公開条例 北留萌消防組合個人情報保護条例
施行年月日	平成19年2月1日から

お問い合わせ先  
羽幌町南5条4丁目5番地 北留萌消防組合消防本部総務課  
電話0164-62-1220

## 「110番通報の適切な活用と警察相談等の#9110利用方法」

- 110番は**
- ・事件事故の発生時の緊急通報電話です。
  - ・電話に出た警察官の質問に、落ち着いて正しく答えてください。
  - ・車を運転しての通報は、法令違反となるので車を停止させ通報願います。
  - ・急行する場所の住所や目標物を正しく教えてください。
- #9110は**
- ・急を要しない相談や照会等で利用してください。
  - ・近くの警察署、交番、駐在所でも受け付けます。
- 聴覚障害者等メール110番**
- ・耳や言葉の不自由な方が携帯電話のEメール機能を利用して緊急通報するシステムです。
  - ・通報時は「事件事故の内容」「詳しい場所・目標物」「メールアドレス」を正しく入力してください。
- 110番の正しい利用をお願いします。

# 留萌開発建設部からのお知らせ

留萌開発建設部では、つるつる路面対策の一環として、砂の入ったペットボトルを置き、通行者が路面状況に合わせて、砂まきをする転倒事故の予防に努めます。

運用期間：平成18年12月15日～平成19年3月下旬まで  
設置場所：道道古丹別停車場線  
(苫前商業高等学校側と古丹別小学校側)



# 「第2回 留萌地域と未来を語る会」の参加者を募集します

道では、現在、平成20年3月で終了する「北海道第3次長期総合計画」に替わる、平成20年度から概ね10年間を実施期間とする「新しい総合計画」の策定作業を行っています。

この総合計画は、道が、未来の北海道の姿をどうしたいのかを道民の皆さんに示すとともに、その実現に向けた道民と道の共通の指針としての性格をもつものです。

道では、平成18年7月から9月にかけて、各支庁ごとに「地域と未来を語る会」を開催し(留萌支庁では7月27日に実施しました)、同時期に行った団体や企業への調査と合わせて、道民の皆さんから多くの貴重な意見をいただきました。

道では、これら道民の皆さんの意見を参考に、「新しい総合計画」の大まかな姿を示す「新しい総合計画の骨格」(素案)を作成しました。

この素案は、北海道の「めざす姿」や「基本姿勢」などについて、道民の皆さんの意見を伺い、平成19年に策定する「新しい総合計画」を策定する基本とするために取りまとめたものです。

道では、この素案について直接道民の皆さんと意見交換を行う「第2回留萌地域と未来を語る会」を次の日時に開催します。

参加して意見を述べてみよう并希望される方は、1月15日(月)までに留萌支庁へ、ご連絡ください。

また、当日は傍聴することも可能ですので、興味のある方は当日ご来場ください。

開催日時 平成19年1月18日(木) 13時～16時

開催場所 留萌合同庁舎2階会議室

申込・問い合わせ

留萌支庁地域振興部地域政策課 電話番号0164-42-8425(直通)

担当者：丸山

# 「暴風雪について」

気象台「一口メモ」  
今月は「暴風雪」についてのお話です。

上川・留萌地方が暴風雪になる地上気圧配置としては、低気圧が発達しながら日本海を北上し、低気圧の通過後上空に強い寒気が入り、西高東低の冬型の気圧配置となる場合。また、日本海に小さな低気圧(小低)が発生し、この低気圧の通過後、一時的に冬型の気圧配置が強まり、短時間ながら暴風雪となる場合があります。

暴風雪警報は、陸上で16m/s以上、海上で25m/s以上の雪を伴った風が吹き、これにより見通しが悪くなると予想した場合に発表します。風雪注意報は、上川地方で10m/s以上、留萌地方の陸上で11m/s以上、海上で15m/s以上の雪を伴った風が吹き、これにより見通しが悪くなると予想した場合に発表し、吹雪や吹き溜まりによる交通障害などへの警戒や注意を呼びかけます。

警報や注意報などの気象情報は、テレビやラジオのほか、インターネットのホームページでもご覧いただけます。

旭川地方気象台  
ホームページアドレス  
<http://www.sapporo.jma.go.jp/asahikawa.html>

問い合わせ先  
旭川地方気象台防災業務課  
電話：〇一六六三二一七二〇一

# 「厚志に感謝します」

社会福祉協議会への寄付

古丹別 関 薫 様  
各町内会・団体等への寄付  
港町内会へ  
苦前 石 井 秀 弘 様  
苦前 茂 木 恵 子 弘 様  
港老人クラブへ  
苦前 石 井 秀 弘 様

遺族会へ  
九重 松 原 敏 彦 様  
老人クラブへ  
九重 松 原 敏 彦 様

# 戸籍の小箱

謹んでお悔やみ申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
石井 静子 (84歳)		11月18日	苦前
加藤 重春 (72歳)		12月2日	九重
濱田 弘子 (73歳)		12月6日	旭
佐々木ヨネ (82歳)		12月10日	上平

# 未長くお幸せに

池田拓也(古丹別)菅原尊子(札幌市)

# 1月 町税の納期

町道民税・固定資産税の納入月です。

苦前町の交通事故情報  
平成18年11月末現在  
発件数 10件 交通事故死ゼロ日数は  
死者数 0人 11月30日現在で  
負傷者数 12人 942日

古丹別中学校生徒の作品

彫りが細かく丁寧  
にできました。



2年 花井 亜美さん



花の花びらがうまく  
できました。細かい  
所が少し難しかった  
です。



2年 伊藤沙由未さん



2年 向野 咲季さん  
バラやちょう  
ちよの細かい  
所をうまくで  
きました。

水の泡を彫るのが  
難しかった。象の  
周りをしっかり掘  
って立体的にでき  
たのが良かった。



2年 西村 恭平くん



線の彫りがなだら  
かにできて良かつ  
たです。



2年 前川 美咲さん



こまかい所が難し  
かった。道がうま  
くできて良かった。



2年 伊藤 沙智さん



風力発電の売電状況

( 町営 3 基 風来望 )

18年 売電実績 ( 3 ~ 11月 )

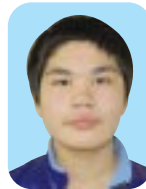
26,178,972円

平成18年11月分の実績

・ 供給電力量 502,900kWh

6,310,137円

きつねの毛をほるの  
がむずかしかったで  
す。北海道が気に入  
ってます。



2年 久保 勇気くん



全体の細かい所まで  
しっかり彫れたけ  
ど、ニスのぬりかた  
が雑だったので、あ  
わが残ったりしたけ  
ど、うまくできたの  
で良かった。



2年 澤村 和華さん



編集 雑記帳

「投雪開始時刻です」と毎日ス  
ピーカーから流れる。今年も12月  
1日から古丹別地区にある流雪溝  
の利用が始まった。平成9年12月  
の利用開始から、冬になると毎日  
この投雪開始の放送と音楽が流れ、  
投雪の終わりを告げる「投雪終了  
時刻です」の放送で、投雪が終了  
となる。平日は、1日に1回30分間  
程度、日曜日は、1日に2回の投  
雪時間が設けられている。また、  
投雪ルートも雪つまりなどに備え、  
ルートごとに投雪時間も区切られ  
ている。流雪溝を設置したことによ  
り、市街地は見通しも良く、交  
通安全等にも重要な役割を果たし、  
見た目もスッキリ快適だ。しかし、  
降雪ごとに日々続く、この投雪作  
業は、結構な重労働でもある。投  
雪するということは、投雪時間ま  
でに、投雪口付近まで除雪作業を  
終えていなければならぬ。当町  
の65歳以上の高齢化率は、平成18  
年12月1日現在で35・06%とな  
っている。この重労働を年齢等に關  
係なく行うことは大変なことだ。  
また、投雪業者が家にいない状  
況になった時を考えると、不安に  
なる家庭も少なくない。良い方向  
に考えると、隣近所とのコミュニ  
ケーションも深まり、助け合いや  
協力の精神も高まるという一端も  
ある。なにはともあれ、心身とも  
に健康でなければできない作業で  
ある。健康であることに日々感謝  
し、春が来るのを待つばかりだ  
今年も皆様にとりまして健康で幸  
せな一年になりますよう御祈念申  
上げますとともに、本年もご支  
援ご協力のほどよろしくお願ひ申  
上げます。

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー